



学校だより

7月号

2014年6月30日
横浜市立中村小学校

学校教育目標 **ともに生きる社会をつくる子どもを育てます**

- ・相手の話を聞き、粘り強くやりとげられるようにします。(知)
- ・互いを認め合い、高め合えるようにします。(徳)
- ・自他の生命を大切に、健やかな心と体を育みます。(体)
- ・よいこと悪いことを判断し、進んで行動できるようにします。(公)
- ・様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げられるようにします。(開)

真剣勝負から自分の力を、見つめなおす

校長 中川 和幸

ワールドカップの一次リーグが終了しました。日本チームは残念ながら1分け2敗で決勝トーナメントへ進むことはできませんでした。選手の多くがヨーロッパのビッグクラブに所属するようになり、大会前の親善試合では強豪チームに勝つなど、前評判が高かっただけにとても悔しい気持ちです。4年に一度のこの大会は、親善試合とは比べものにならないほどの重圧が選手たちに襲いかかった真剣勝負そのものでした。選手からは「もう少しできたはず」とか「自分たちのサッカーができなかった」などのコメントが出ていますが、「できたつもり」でいたことをもう一度見つめなおし、選手一人ひとりができたこと・できなかったことをしっかり分析する必要があると思います。

学校の勉強も同じようなことが言えると思います。最近、学習をすすめる上でグループ学習が多く取り入れられていますが、ややもすると理解が不十分なのにグループのメンバーの意見に同意するだけで、自分で考えることをしないで、分かったつもりになってしまうこともありがちです。数日後のテストという真剣勝負の場で結果が出ないことで、足りない部分を知ることがあります。理解に不安を感じたならば、「わかったつもり」でとどめておくことなく、もう一度質問したり、家庭に帰って復習したりすることが大切です。中村小学校の教職員は楽しく分かりやすい学習ができるように工夫し、子どもたちに寄り添えるように日々努力しています。ご家庭でも学習の様子などについて子どもたちに話を聞いていただき、「わかったつもり」で



仕事仲間のプールロボット。よく働きます。

いないかを確認していただければ幸いです。先週から学校では水泳学習が始まりました。水泳はできた・できないがはっきりしているため、不得意な子にはなかなかつらい学習かもしれませんが、自分を見つめなおすよい機会と考えて、努力してほしいと思います。朝の検温や同意の印押しなど、ご協力をお願いいたします。みんなに泳ぐことの気持ちよさを感じてほしいと、毎日プールのメンテナンスをしています。